



Social Innovation Relay 2023

～高校生のソーシャルビジネス企画コンテスト～
世界に挑むチーム募集中！

参加費無料

ビジネス アイデア 大募集

**課題発見！
探究学習**

Social Innovation Relay (SIR)

社会を暮らしやすい場所にするには？あなたの実現したい未来は？イノベーションを駆使してビジネスで解決しよう！外資企業の一線で働く社会人からのメンタリングで企画力を磨く。
国内決勝戦に進出チームは東京へご招待！仲間と実績を残そう！
教育、環境、高齢化、飢餓、雇用、所得格差、知財シェア、ダイバーシティ、ワークライフバランス、貧困、医療、移民、資源、食料自給、地域活性化・・・???

大会参加者の声を動画で

参加者のリアルな声

大会の進捗は Instagram で随時更新 →
http://instagram.com/jajapan_sir



過去の大会を youtube 動画でご紹介 →



**進学の実績
づくりに**

国際大会出場までの道のり

**社員メンター
アドバイス**

一次予選（1チーム、2～4名で参加）

アイデアレポート1部提出

二次予選（一次通過の20チーム）

レポートとプレゼン動画提出

国内大会決勝（二次通過の7チーム）

東京渋谷のエヌエヌ生命保険本社へご招待

優勝⇒ オンライン国際大会出場権と表彰状と

図書カード（10万円分/1チーム）

準優勝⇒ 図書カード（5万円分/1チーム）

3位⇒ 図書カード（2万円分/1チーム）

国際大会（Global Final）

日本代表チームがオンラインで参加（英語）

企画力を身につけよう！
二次からチームに1名ずつエヌエヌ生命保険の社員メンターがつきメールでアイデアをブラッシュアップ。成長のチャンス！

豪華 副賞

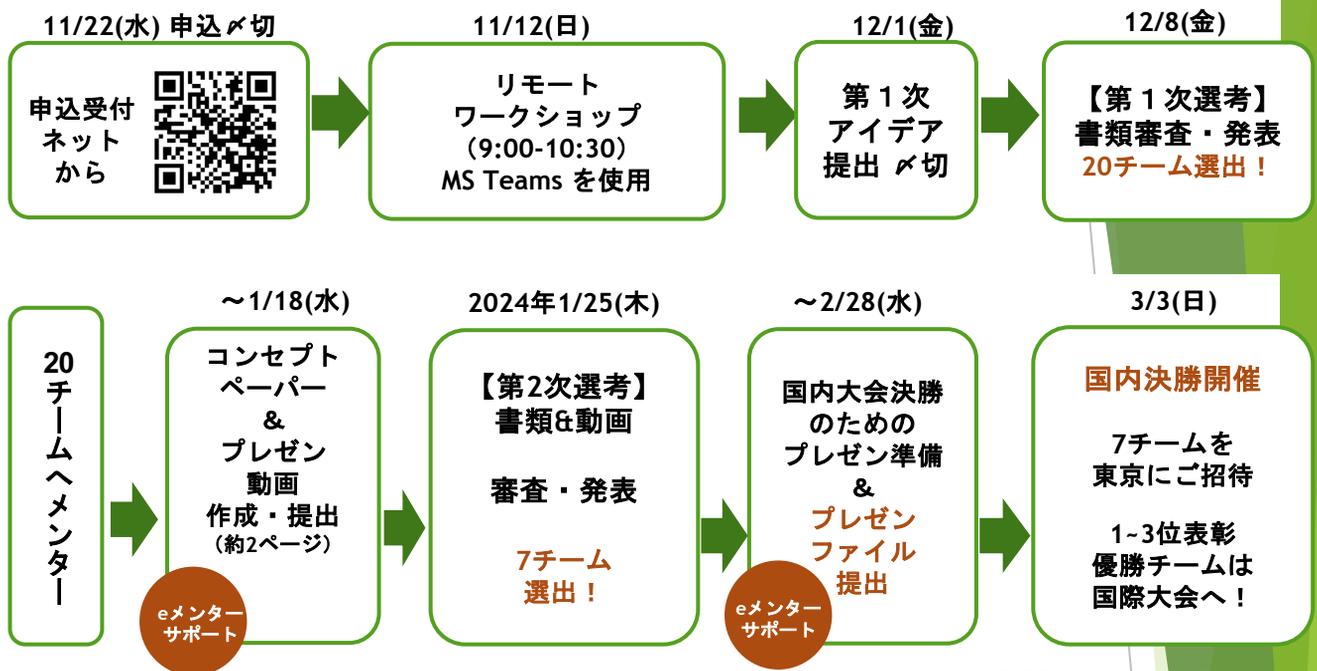
**海外実績を
作ろう！**



Member of
JA Worldwide

大会の流れ：国内大会の決勝戦以外は、全てオンラインで実施します

Stage 1: 国内大会（1次予選で20チーム選出、2次予選で7チーム選出）



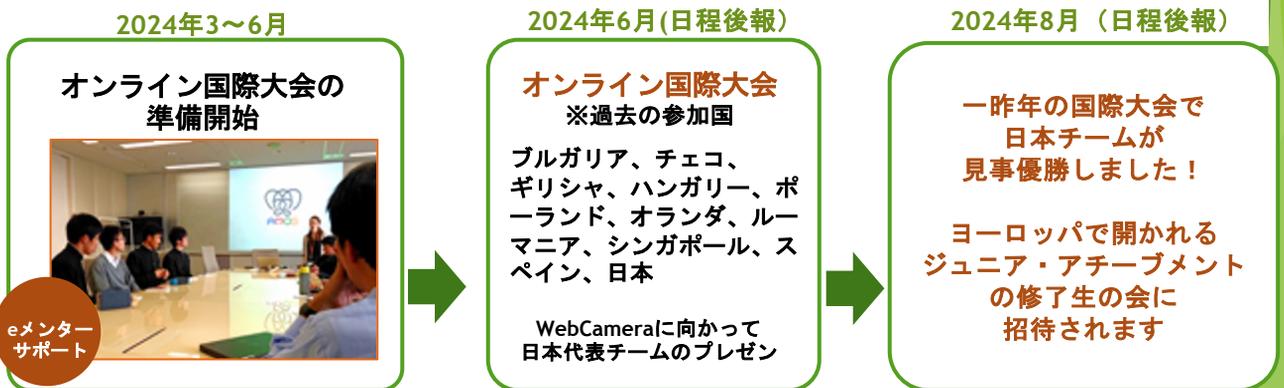
二次からチームに1名ずつ
エヌエヌ生命保険より社員
メンターが付き、メールで
アイデアをブラッシュアップ
またとない、大きな成長の
チャンスです。

緊張もあるけど
思う存分にプレゼン！

二次選考を勝ち抜いた
ベスト7チームが
各地から東京に集合
して決勝戦に参加



Stage 2: 国際大会（国内大会で優勝した1チームが日本代表として出場）



ソーシャルビジネスとは？

- ① ソーシャルビジネスが一般企業の営利事業と最も異なるところは、事業の目的として「利益の追求」よりも「社会的課題の解決」に重点を置いていること。
- ② ソーシャルビジネスがボランティア活動と異なるところは、社会的課題に取り組むための活動資金を、寄付や行政からの助成よりも、ビジネスの手法を活用して自ら稼ぎ出すことに重点を置いていること。
- ③ しかも、課題は与えられるのではなく、自分で見つけてこななければならない。(参照：政府広報オンライン)

大会に求められるスキルは？ ー将来社会で必要とされる力を身につけよう！

- 情報収集・分析・活用能力
- コミュニケーション能力、英語力
- スケジュール管理能力
- 独創性 革新性 アイデア
- プレゼンテーションスキル
- ITテクノロジーへの興味

【国内決勝から国際大会へ】

感染症の影響により、国内大会もオンラインにより実施することがあります。
国際大会は、いずれにしてもオンラインでの実施となっています。



7チームが招待されて、東京に集う
国内決勝を開催し、国際大会出場チームを決定



2022年度実施優勝 (チーム ProjectX)
東京電機大学高等学校



リラックスして臨もう！
国際大会プレゼンテーション



メンターの社員と喜びを分かち合う
生徒チーム
フィードバックをいただきました

【大会を振り返って】

過去の大会に参加した先輩たちからのメッセージです



「Social Innovation Relay (ソーシャルイノベーション・リレー：通称SIR)」
はコンテスト形式のプログラムで、日本は2015年よりこのコンテストに参加し
ています。

国際大会に参加した10カ国のどのチームも英語での見事なプレゼンテーション
はもちろんのこと、パワーポイントで工夫を凝らした資料と、独創的なビジネ
スアイデアで、審査員の興味をひいていました。

2017年度には、日本チームが3位入賞し、
2021年度は、初めて日本チームがトップ3 (優勝) となりました。

参加資格 ※下記①～⑤を全て満たしていること

① 日本在住で日本国内の高校に通う1～2年生

※インターナショナルスクール、ならびに海外から日本への留学生は、特別招待枠への応募が可能です（そのうち優秀な1チームを特別招待として国内大会へ選出します）から申し込みの際に申し出てください。国内大会優勝チームは国際大会に進み、レポートとプレゼンは英語となりますので、相応の語学力を必要とします（但し、国内大会優勝チームには、エヌエヌ生命社員のバイリンガルサポートがつきます）

② 1チーム2～4名の範囲（人数超過は認めません）で構成して下さい。異なる高校で組んでも構いませんが、必ず**所属校の先生の許可を得て**応募してください。国内大会決勝に進出し、**東京へお越しいただく旅費支給対象は、生徒2名**とします。

誠に恐れ入りますが、引率の先生の旅費補助はありませんので、ご了解下さい。なお、COVID-19の状況によっては、感染拡大防止の観点から、国内大会決勝をリモートで行うこともあります。2022年度はリアル開催が可能でした。

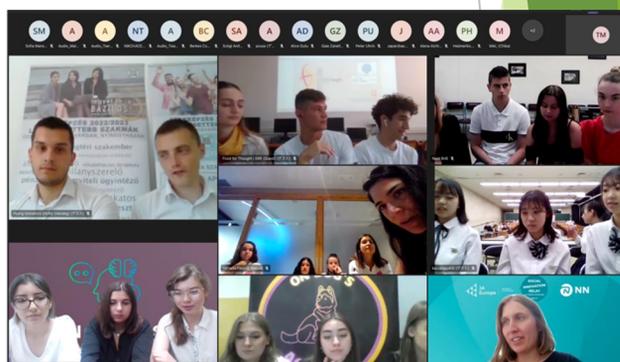
③ 国内大会では、広報活動の一環で写真・ビデオ撮影を行い、エヌエヌ生命保険、ジュニア・アチーブメント双方の広報紙やウェブサイト、Facebook等SNSでの公開、メディアへの情報配信、取材やインタビューを受けていただく場合があります。参加申し込みは、この点をご承諾いただくことを条件とします

④ 主催者からのアンケートや調査に回答していただけること

⑤ パソコンからインターネットに接続の環境にあること（E-Mailによる連絡が中心です） （インターネットへのアクセス通話料は自己負担となります）

⑥ 11/12のワークショップ（自由参加）と第2次選考に残った7チームはリモートによるプログラム参加となり、Microsoft Teams を使用します。

参加生徒の声（過去の国内大会決勝から）



2021年度国内大会参加チーム集合写真（左） 2021年度Global Final 集合写真（右）

メンターさんとのミーティングを通じて、考えを伝えるように言語化する力が身についたと思います。オンラインだったこともあり、特に、きちんと話さないと伝わらないなと強く感じました。

日本でされる大会で、国際大会まで道が繋がっているものはなかなかありません。

ビジネスのことだけでなく、社会に出て働くとはどういうことなのかも学ばせていただきました。

こんなに沢山の学びの機会を、ぜひ他の人にも経験していただきたいです。

（2021年度 国内/国際大会優勝チーム）



大阪府立三国丘高等学校の Rerucup チーム

共催団体

エヌエヌ生命保険株式会社、NNグループ
公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
ジュニア・アチーブメント ヨーロッパ (Young Enterprise)

申込方法

オンラインのエントリーフォームに下記のURL か QRコードからアクセスして、お申し込み下さい。電話等による申し込みは受け付けておりません。

ビジネスアイデアの提出は12/1です。

ここでの申し込みは、チームエントリーだけです。

<http://u0u0.net/Vj2o>

**申込締切：2023年11月22日（水）
23:59受信分まで**



お問合せ

E-mail: tmasa+sir@ja-japan.org

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本（担当：高木、伊藤）
〒140-0001 東京都品川区北品川3-9-30

ジュニア・アチーブメントとは



1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部の設立は1995年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会で自立できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイトwww.ja-japan.org をご参照ください。

エヌエヌ生命保険とは



エヌエヌ生命は、オランダにルーツを持ち、175年におよぶ伝統を誇るNNグループの一員です。NNグループはヨーロッパおよび日本を主な拠点とし、11カ国にわたり、保険事業、年金事業、銀行および投資業務を展開しています。その名は、源流である「ナショナル・ネーデルランデン」に由来しています。エヌエヌ生命は、1986年に日本で初めてのヨーロッパ生まれの生命保険会社として営業を開始して以来、約35年にわたり、中小企業の“大切なもの”を共に守る商品やサービスをご提供しています。

エヌエヌ生命の社会貢献活動



エヌエヌ生命は、日本の中小企業を支える生命保険会社として、次世代を継ぐ若者たちに教育機会や起業・経営に関する育成機会の創出を目指しています。